

H氏

■年齢：27歳

■学歴：大卒

■婚姻状態：未婚

■子の有無：無し

■居住形態：寮

■母親の就業：ずっと自営の仕事(農業を含む)や内職を続けてきた

■家事能力

あまりできない。最近掃除するようになった。

■結婚の希望

有

■理想の結婚年齢

30歳前半(33-34)

■理想の婚姻形態

(妻は)小学校中学年ぐらいまでは家において、そこから働き始めるぐらいがいいんじゃないのかな。

■子どもがほしいかどうか

欲しい

■子どもがほしい理由

(家族、欲しいっていうのは)そうですね。いつの日かみたいな感じで思ってたね。

■理想の子供数

3人

■理想の子供数 理由

結婚して2人ですよ。3人生まれたら1人分繁殖してしまいますもん(笑)。繁殖力で勝ったみたいな(笑)。

■子どもの性別の希望

女、男、女(笑)。女、男で次、男が生まれたときに、女の子、女の子ってずっと思ってたんですけど、男の子だったんで。

■育児休業制度の取得意欲

(自分が育児休業を使うことは)ないですね。使うか使わないかじゃなくて、使えない。

■育児休業その他

(皆さんの会社には育児休業制度があるでしょうか。)男にも一応名目上はあります。

■子育てへの参加意識

何か母親の子育てと父親の子育ては違うべきだと思っていて、母親がご飯つくったりとか、・・とかいうのも、別に手伝う必要は特になくて、父親としては何か野球見に連れて行ってあげたりとかいう、何かいろいろ悩みを聞いてあげたりとか。

■不妊に対する意識など

(不妊治療が)どんな治療か知らないから(笑)。どんな治療するのかわかんないですけど、その治療といわれるとちょっとえって思いますけど、でもやりたいです。

■少子化問題について

・問題でしょう。

・(もし自分に子供ができなかったら養子あり得ないですか。)そうですね。

多分今子どもを産んで育てたりするの、すごい金がかかったりすると思うんですよね。あと、何か子どもを産むために会社をやめなきゃいけない。金がかかるのに、仕事もなくなっちゃうという、何かそういう子どもを産めないような社会的な仕組みになっていると思うので。昔って何か、すごい日本は貧しかったとき、何かお母ちゃんとか7人きょうだいとか8人きょうだいて。何かそういう時代にもうちょっと戻れば、何かもっと活気が出てくるのかなと思うんですよね、日本の社会。

・多分何か、産めよふやせよとかそういう政策をとるのは国として恥ずかしいと思うんですけど、産みやすいとか育てやすいインフラを整えることは、もっともっとできるんじゃないかなと思います。それが国のやるべきことだと思うんですよ。

・(じゃあ、たとえば独身者はいいところに住めないとか、独身者には課税が多いとか、税率高いとかっていうのはやり過ぎ。)だって好きで独身でいるわけじゃないですから(笑)

a氏

■年齢：21歳

■学歴：大学在学中

■婚姻状態：未婚

■子の有無：無し

■居住形態：実家（兄，父方祖母と同居．両親は転勤で仙台）

■母親の就業：ずっと家事・育児をしてきた

■結婚の希望

有

■理想の結婚年齢

意外と結婚年齢が何歳であるかということにとらわれなくてもいいかなと．相手あってのものですから．

■理想の婚姻形態

・社会的な自己実現よりも抽象的なものだけど，家族というものが大切だと思うんですよ．だから，社会活動というのは最低水準の生活ができればいいわけで．就職にしろ何にしろ．とにかく片方は常にいられて，もう片方は常にそれをサポートできる状態であればいいなとは思っています．ただ，現実問題それが可能かどうかというのは，また別な問題なってきてしまいます．

■子どもがほしいかどうか

有

■理想の子供数

ちょっと，理想では考えられないし，2人から3人じゃないですかね．

■理想の子供数 理由

さっきも言ったとおり，社会的自己実現を目指さないとして，子どもが望む進路をとらせてあげたいという親心を計算すると，ぎりぎりじゃないですかね？だって，高いんだもの，日本の教育費．

■育児休業制度の取得意欲

・(育児休業とかやって自分も子どもを育ててみるということいかがでしょうか。)制度的に確立されていれば使えるとは思いますが，ただ日本の場合は，ものすごくそれを暗黙の了解で使わないほうがいいという……

・(何年とか何カ月とか，どれぐらいだったらできそうですか。)結局，企業が保障してくれる中でできる限りは．でも，実際にはそういう保障は多分ないと思います．例えば出世とかそういうことに関していえば，まずないでしょうね．現実的にできるかといったら，多分やめる覚悟でやればということだと思うんです．でも，1年以内だったら，しっかりそれが保障されているのであれば，

もしかしたらできると思うんですけど。

■育児休業その他

(就活中に)それこそ面接で、結婚したらどうするのとかというの、まだまだ聞かれる。

■子育てへの参加意識

(子育て自体はやってもいい?)はい。

■少子化問題について

・僕も、短期的に見ればいろいろ問題があるのかもしれないけれど、長期的に見たら、今の少子化問題というのは将来的には別に何も問題ない。

・(社会システムとか、一時的に非常に苦しくなるだろうが、)それを理由に子どもを産めよふやせよというのも解決策になるかといったら、それもまた別の話で。あまりピンとこない問題だなという……。しょうがないというか……

・家族を持たないことイコール子どもを持たないことになってしまえば、結局少子化も進むんじゃないかという感じがするんです。

・できれば子どもには、そういうこと(教育)にお金がかからない方法で育てていけるような環境があればいいなと思うんですけど、現実的に今の社会で子どもを育てるとしたら、それ相応の経済力が必要なのかなというのが漠然とある。

・僕は、社会システムの核家族というのがもはや限界に来ているのじゃないかと思うんですよ。結局核家族で孤立したり、自分の子どもは自分で育てたいという要求が強いことが、ある意味では少子化にしても何しても問題になると思うんです。

・安心した教育システムは何によってもたらされるのかというのは、私立教育でも公教育でもいいと思うんですけども、結局僕も含めて親になる人たち、社会人になる人たちがその教育システムの中で何が行われていて、その教育が本当に自分の子どもや社会に生きていく子どもたちにとっていいものなのか悪いものなのかを担保する目であったり、それに対して発言する権利があったり、それによって改善されるようなシステムであることが重要だと思うんですね。

・そういう意味では、システムの制度化されている核家族の中で、お父さんとお母さんはいつも笑顔で子どもを見守っているというような理想像は多分近代にでき上がったものなんだろうけど、すごく新しいものであって、別に普遍的なものではないと思うんで、そういうものにとられる必要はないと思うんですけど。

・ただ、社会における子どもたちがどういう教育を受けていて、その中でそれがどう改善されていくべきなのかということ、今までは大人たちは自分が働くのに忙しいからとかパートで忙しいからという理由で、そこには目を向けずに、いくらお金がかかるかだけの勘定をしてきたという部分があると思うん

ですね。それをもっと中に目を向けて、どういう教育が行われていて、それが本当に子どもたちにとっていい教育なのかどうかについてみんなで議論したり、それに対してどうやったら改善できるかというようなシステムが、社会の中に必要なんじゃないかということを考えて、地域教育的なものをやりたいと思っているんですけど。そういうかかわり方がやっぱし……

それぞれがコストとしてかかわれる時間を提供することが必要なんじゃないかなと思って。

・今の時代に家族を持たないとか子どもを持たないというと、社会的自己実現のほうが、現在のほうが自分にとっては有意義だろうというてんびんにかける時代になってきちゃったんですね。今までは、核家族というのは、父親が働くのを助ける、バックアップする機関だったと思うんです。それが夫婦共働きとか、女性の権利の拡大ということによってバランスが崩れたわけで、家庭が安心できる場所だとか、常に母親がいて子どもがいて楽しい家庭があるかといったら、そうじゃないという時代になったら、今度は家族というものと社会的自己実現というものは切り離されたものだ。そういうところで家庭に興味を持てなくなる人たちがふえるというのは、ある意味当然なんじゃないかな。それは別に自然なことで、何も大きく問題はないんじゃないのか。家族じゃないにしろ、何らかの新しいシステムがあればなるわけだし、それはしようがないんじゃないか。家族を持たないことイコール子どもを持たないことになってしまえば、結局少子化も進むんじゃないかという感じがするんです。

・そういう私立の教育システムというものも、信頼ができるものであればいいんですか。いつでも見にいけるとか閉鎖的じゃなければ、オープンであれば。

・子どもを育てるということがコストだという時代であるというのは、すごく寂しい時代なんじゃないかなという感じがするんですね。だから、子どもを育てることがどういうことなのかというのを、僕たちの世代が真剣に考えていくことが、これからの時代にもっと大切なことじゃないかなという気がします。

・社会的に見れば、もちろん自分が子どもをどう育てるかというのもそうですけど、それは自分がどういう環境で育ってきたかということのを反省する意味でも、いい一面があるだろうし、これから自分が親になるという意味でも、あるいは社会人になるということでもそうだと思うんです。育てられているときに自分がコストだと感じられていると知ったら、子どもはすごくショックだと思うんですね。でも、一面ではそれは真実だし、しようがないでしょうけれど。

■その他

・(もし自分に子供が生まれなかったら)養子でもいい。社会のああいう子どもでもいい。自分が伝承しなきゃいけないことというのは、自分の子どもじゃないといけないのかどうかというところ……………

僕は地域教育というものを考えてやってみたいなと思っているんです。そこでは、自分の子どもも当然そこに参加しているんだけど、周りにはいろんな子どもたちがいて、大人たちもいろんな大人たちがいて、その中でいろんな子どもの教育に関してどうやったらうまくいくかということ話し合いながら、いろんなことを子どもたちと一緒に学んでいけるような場を考えていきたいなと思って。そういうときに、自分の子どもに特化しないといけない理由が、もしみんなの中にあるんだったら、そういうものがすぐ結果として障害になるものもあるのかなと思って……。それがちょっと……

・かつては割と普通にそうだったと思うんですけど、現在において、もし自分の子どもを育てることが一番大切なんだという価値観があるとしたら、それがどこから出ているのかちょっと知りたかった。

・自分の子どもじゃないといけないのかという問いが結構いつもあるんですけど、そうでもないかなと思っているんで、あんまり自分の子どもを産まなければいけないという意味はないといえはないんですけど。やっぱりg氏がさっきおっしゃったみたいに、神秘的なものというのは僕も感じる場所があるんで、そういうものに引かれるのかなというところはあるんです。これとって、自分の子どもじゃないといけないんだということはないかな。

b氏

■年齢：22歳

■学歴：大学在学中

■婚姻状態：未婚

■子の有無：無し

■居住形態：実家（親と姉と同居）

■母親の就業：ずっと自営の仕事(農業を含む)や内職を続けてきた

■家事能力：例えば、やれと言われてそういう状況に陥ったらできなくはない。それも初めはどうかかわからない。そういう経験がないから。それこそ小中高校のときの家庭科の授業じゃないけど、そういうレベルの話では別に全くできないというわけでもないし、やればできるのかなと思うし、ただそういう状況にないから自信がないというか……。

■結婚の希望

有

■結婚年齢の理由

やっぱり(親の年齢と子の年齢が)離れ過ぎちゃうと、もちろん育てたときにすごい年になっちゃうし、その後が短いというのもあるし、子どもにとってもあんまり離れていないほうが何か。

■理想の婚姻形態

自分は働きたい。共働きでも。もし結婚したときに、奥さんになる人が仕事も大事にしていきたいという価値観を持っている人だったら、共働きで行くのがベストだと自分も思うし、その人が「いや、自分は子どもをずっと面倒見て育てたいから、会社もやめて主婦になる」と言う人だったら、それはそれでいいと思うし、そこはお互いを尊重して一番いい形に……。だけでも、そのときに自分の価値観としては、自分が家に入るということはあんまり考えないですね。

■子どもがほしいかどうか

有

■子どもがほしい理由

・自分はどうせ死ぬけど、自分が死んで終わっているよりも、何かそうやって続いて行って。子どもを見たら、自分の存在、アイデンティティーみたいな。

・そういう何か人間だからこそ、人間じゃなくても動物もそうだけど……。かわいいもそうだけど、社会として人間として子どもはつくって、そういうことを漠然と……。自分のあこがれというか、やっぱ神秘的……。そうあるべきじゃないかと。べきでもないけど。

自分は結構ちっちゃい子とか見ててかわいいなと思うんで。別に子どもは嫌い

じゃないので。子どもとかを見ると、子どもは結婚したら欲しいなというところにつながる。

・まず自分の親がピアノの先生をしてて、ちっちゃい子がすごい家に来るんです。自宅でやっているんで。幼稚園とか低学年、子どもといっても、僕の場合はそれぐらいの年齢を指しているんですけど。その子と接したりするとかわいくて。発言とかがおもしろいし、何かかわいいなと思うし。人の子だから、自分の子だったらなおさらだろうなと最近思うようになった。

■理想の子供数

理想は2人。

■理想の子供数 理由

・1人だとやっぱり……。きょうだいがいるということで、それで人間的にどうか、得られるものがあると思うんです。きょうだいという関係として成長していく中で何か、子どもにとって一人っ子では感じられないような大切なこととかが感じられるような何かある気がするし、あとは育てるという立場から見ると、2人ぐらいが一番経済的にとか何かから多分育てやすいのかなと思う。

・多いとやっぱりそれだけ、育児とか時間がかかるし、お金もかかるし、自分たちの愛情とかがすべて子どもに注げて、自分たちの時間も大切にできてとか、そういう感じの、2人ぐらいがいいんじゃないかなと漠然と思います。

■子育て観

・やっぱり自分は結構仕事とかして、社会的貢献じゃないですけど、そういう家庭のプライベートなタイムと同時に、人間として社会に貢献していくようなことにも生きていく意義があると思うんですよ。だから、自分がそうやって社会的・・・を生きていく中で達成して、自分の子どもにも、自分たちが今までもっと前から続いてきたけど、そういう社会を担う1人として生きていってほしいという意味で。別にほかの人も、全く自分の子どもじゃない人にももちろん頑張ってもらいたいけども、自分の子どもにも。自分の子どもを持って子どもが立派に社会で貢献したり、支え合ったりという一員になっていってくれるのが(いいと)、自分的にはそう思う。

・わがままに育てなければいい。お金はあっても、変に甘やかすことをしなければいいわけで。やっぱり経済的問題はすごいかわるかな。

■子どもの性別の希望

僕は、一番上に姉ちゃんがいる……。そうじゃなかったら別にいいんですけど……

何かお姉ちゃん、一番上だったり、求めちゃいけないんだろうけど、面倒見がよくなってくれるのかなとも思うし、だけど、男の子と遊びたいというのもあるし……。すごい自己満足かもしれないけど、箱入り娘を育てたいというのが。

(笑)

c氏

■年齢：21歳

■学歴：大学在学中

■婚姻状態：未婚

■子の有無：無し

■居住形態：一人暮らし・西所沢（実家は北海道）

■母親の就業：その他

■結婚の希望

有

・(結婚したいんだけど、もしかしたら結婚しないかもしれないと思っている?)
はい。このまま何かずるずる行くかなと・・・・・・・・・・。(笑)

■理想の婚姻形態

(奥さんが専業主婦でも働いていても) どちらでも。好きにやってくれと。(笑)

■婚姻形態の理由など

(奥さんが専業主婦じゃなくて共働きだったら、やっぱり自分が育児や家事というのはそれなりにやっていかないと、多分回らないというのが想定されるが、) 自分子どもだから、どちらでもいい。

■子どもがほしいかどうか

有

■子どもがほしい理由

やっぱかわいい。

結婚するんなら子どもはやっぱ欲しい。

■理想の子供数

僕も2人です。

■理想の子供数 理由

男1人、女1人。子どものことを考えているんじゃないですけど、自分が育てる場合として、男、女とではやっぱ違うと思うんで、経験できることは全部したいなという……。

■子どもの性別の希望

男1人、女1人。

■子育てへの参加意識

・(子育てするつもりは)ありますけども、自分が専業主夫みたいになるのは……(例えば、働きながら育てるというのを、できることをやるというのはやりたい?)そうですね。

・(例えば、土日とかは自分がメインでやるというんでも、全然(オーケー)?)

それは別に全然いいですけど。

・やる気というか，時間の使い方を知らない．土日が使い切れない．それなら自分の子どもといたほうが……．

d氏

■年齢：22歳

■学歴：大学在学中

■婚姻状態：未婚

■子の有無：無し

■居住形態：一人暮らし・所沢市（実家は愛知県）

■母親の就業：子どもが大きくなってから再就職した

■結婚の希望

有

■理想の婚姻形態

あまりイメージしていないけど、どうしても専業主婦をやりたいというなら、やってもらってもいいと思うんですけど、専業主婦に対してあまりいいイメージがなくて、あんまり健康的じゃない気がして……

やっぱり共働きのほうがいいような気がします。

■婚姻形態の理由など

もうちょっと社会に対して働きかけが……。仕事をしたほうがいいんじゃないかなという気がして。仕事はしていたほうが、家事とかもシェアできるし、仕事をしている上での痛みとかもシェアできるから、やっぱり共働きのほうがいいような気がします。（その共働きというのは、男性と同じような働き方をすることをイメージする？ それとも、パートタイムで〔10時－4時とか？〕お昼に5時間だけ、保育園か幼稚園の送り迎えには間に合う程度の共働きを意味しているのか、それとも普通に企業に勤めてフルタイムで働くというのを意味している？）それも有り得ると思うんです。僕がイメージしたのは後者でした。会社。

■子どもがほしいかどうか

有

■子どもがほしい理由

僕はそこまで子どもが欲しいとは思わない。子どもはいたらいいと思うんですけど、もし生まれなかったら生まれなかったで、そのときは、子どもがいない人生を楽しんで。

■理想の子供数

僕は正直何人でもいいんですけど。具体的に言うなら3人かなと思います。

■理想の子供数 理由

その理由として、3人の兄弟というのが一番IQが高くなるという情報……。

（笑）本当にそうなるかというのを……。 （笑）3人ぐらいなら社会ができるん

ですね。子どもの社会。

■子どもの性別の希望

男女の産み分けは望んでないですけど。

■育児休業その他

・就活して、育児休業制度があるかないかというので、会社を選んでいる人は多くいました。

・ホームページとかも、そういうの(育児休業制度)を見るようにできていないんです。そういうところ、まず。

・大きいところは書いてあるけど、企業側がそこをアピールしたりするような社会ではないということで。だから、普通に書くけども、男としては考えないほうが……。 (多少不利になるかもしれないと) そうそうそう。思いました。

e氏

■年齢：22歳

■学歴：大学在学中

■婚姻状態：未婚

■子の有無：無し

■居住形態：実家（埼玉県蓮田市，両親，父方の祖母，弟）

■母親の就業：子どもが大きくなってから再就職した

■結婚の希望

有

■理想の結婚年齢

父が，多分おれが35歳のときに……。 (笑) おれができたと聞いたので，それよりはというのがありますね。

■理想の婚姻形態

専業主婦は，むしろ嫌だというほうかもしれないです。ただ，それは自分の価値観というのでしょうか。それとも変わっていくのか。自分が専業主夫になるかもという意識も含めて……。 それもあり。奥さん働いてください。私，子どもの面倒を見ますという……。その逆が多分ない。おれが働きたくないという……。 (笑) むしろフルタイムで働いてほしいなと……。

■婚姻形態の理由など

家族的価値観より社会的価値観のほうを重視する人間なので，もしも奥さんがいるとしたら，奥さんにも社会的一員であることをやってほしいなと……。結婚するならば，多分奥さんの意思のほうが第一にするだろうなというのがあって，奥さんがバリバリすごい勢いで働きたくて，家族にあんまり手をかけたくないというなら，おれ専業主夫になっちゃってもいいかなというような気もあって。でも，別に普通にシェアしてくれるぐらい余裕があるんだっただらば，シェアしたいなという，そんな感じで。あとは社会的状況による。育児休暇がどうたらとか。それになるのかなとか勝手にそう思っていますけど。

■子どもがほしいかどうか

有

■子どもがほしい理由

自分が子どもを持ちたいと思う一番の理由は，どんどん老いてきたときに，60歳とか70歳とかになったときに，自分の身近な知り合いとか周りの人とか過去の関係とか惰性化してきて，どんどんそれがなくなっていくという孤独感というのが怖くて。年をとったときに，50年後とか。そこに子どもがいたりすると，孫とかいて，そういうつながりがあったほうが絶対にいいなという，そういう

ことです。

■理想の子供数

多分僕も2人ぐらい欲しい。

■理想の子供数 理由

理想というのは話がちょっと違ってきちゃうんですけど、やっぱり2人以上、3人とかになってくると家計のほうที่苦しいのかなとか……。

■育児休業制度の取得意欲

いろいろ現実的に話し合った上で、期間は無理かなというのものもあるんですけど、活用できるならぜひ活用したいですし。

■育児休業その他

(育児休業を取ると)不利になるとかいうことを気にしていた女の方は……いますからね。

■子育てへの参加意識

やっぱり自分に子どもができたとしたら、生まれたその子にちゃんとかかわってあげたいと。

■少子化問題について

移民の受け入れとか、そういうのはどうですかね。

f 氏

■年齢：20 歳

■学歴：大学在学中

■婚姻状態：未婚

■子の有無：無し

■居住形態：一人暮らし・所沢市（実家は神奈川県鎌倉市）

■母親の就業：その他

■家事能力：ごみ出し，ふろ掃除，洗濯，掃除機かける。

■結婚の希望

有

（結婚したいんだけど，もしかしたら結婚しないかもしれないと思っている？）
思っていますね。しないかもしれないというのは，どちらかというと仕事をバリバリやって，そのまま何事もなくみたいな感じをイメージしている部分もあるけど，結婚して家庭を持ってというイメージもあるんですけど，将来像として，どっちになるかは……

■理想の婚姻形態

子どもを持つなら，専業主婦になってもらったほうが……。

■婚姻形態の理由など

基本的に家にいるんだけど，時々仕事に行くみたいなのだったら，あれだと思
うんですけど，パートだとかフルタイムで働くとかは，子どもが帰ったときに
家にだれも人がいないというのは何か……とか……。

■子どもがほしいかどうか

有

■子どもがほしい理由

・(子どもについてかわいいとか割と意識したり感じたりすることはあります
か?)あります。電車に乗っているときかわいいと思ったり……。

・(子どもについては，)僕も結婚したら持ちたいと思います。でも，結婚しない
で生きていく人生もありだと思っているんで。もちろん結婚して2人で生きて
いくのもありだし。子どもがかわいいとか神秘的だとか，そんな理由から持ち
たいとは思っている。あまり考えてない。

・今ちょっと思ったのは，経済的に少しぎりぎりぐらいのほうがいいかな。あ
まり余裕があり過ぎると，わがままに成長する……。 (笑)

・(かぎっ子は)まだかわいそうだと思います。

■理想の子供数

自然に任せるで。(笑)

■理想の子供数 理由

そんなに考えたことがない

というか……。時々あるじゃないですか、こういう質問が。でも、あまりイメージがわからないというか……。

■育児休業その他

そうですね。いま言おうと思っていたこと言われちゃった。(笑) 短く働くというのが、さっきいいと思ったんですけど、短く働いてそこのやっていない部分で……。

■子育てへの参加意識

子育てはしたいですね。

(子育てにやる気は一応ある)今のところは。半分半分ぐらいというのは、多分自分の中ではちょっと無理。自分の中では働きたいというのがあるから、どっちかという奥さんにやってもらいたいなというのがありますけど、もちろんやれるところはやります。

■少子化問題について

- ・(少子化は問題だと)思わない。
- ・言い方がきついんですけど、むしろ人間ちょっとふえ過ぎたなという……(笑)。

g氏

■年齢：22歳

■学歴：大学在学中

■婚姻状態：未婚

■子の有無：無し

■居住形態：実家（両親，兄父方の祖母と同居）

■母親の就業：結婚前からずっと勤めを続けてきた

■家事能力：やれと言われたら，結構「うん，やりますよ」みたいな。

■結婚の希望

有

■理想の結婚年齢

30の前で結婚したい，と思うんですが，やっぱり仕事のとかの関係で波に乗らないといけないだろうし（笑）．現実的に無理なのかという．（なりそうなのは）やっぱり30ぐらい．30ちょい．

■結婚年齢の理由

勝手にそう思っているんですけど，子どもができたときに親がある程度若いほうがいいなというのがあって．うちなんかは僕自身が，親が30を超えてからの子どもなんで．平均より遅いかというと，遅くもないと思うんですけど．でも，若いほうが……．それこそ自分が年とっていっても，また別の楽しみというものがあるんじゃないかなと．自分がある程度若いほうが．ただ単に自分がある程度若いうちのほうがおもしろいかなと．

■理想の婚姻形態

自分が仕事をやりたいという気持ちがあるから，もし自分の奥さんになる人がやりたいというんだったら，自分がやりたいというんだからその人にやらせてあげないと仕方ないだろうし．そうやった上で，やっぱり子どもも欲しいとお互いに思うんだったら，それも実現させるすべを考えていくしかないのかな．だから，何かを切り捨てるということよりも，できる限り全部やっていくという道を考えることのほうが大切かなと．そう考えると，どちらかが家に入っているというんじゃないくて，奥さんが仕事をしたいと言うんだったら，奥さんも仕事して自分も仕事して，その上で子どもを育てるという……．だけど，今の日本の世の中では，そういうのがすごい難しいなというのが現実問題としてあるから，果たしてどこぐらいまでできるのかというのが，まだ仕事していない自分たちにとってはリアリティーがないから，深く考えられないというのがあると思うんです．それは自分たちが変わるべきというよりも，社会が変わるべきなんじゃないかなと思うんです．

■子どもがほしいかどうか

有

■子どもがほしい理由

・もしかしたら、僕の中のイメージだと子どもが前提にある。家庭となると、もちろん奥さんと2人で生活するというのもあるのかもしれないけど、やっぱり家庭というものを考えるときに、一番初め絶対僕は真ん中に子どもがいるんじゃないかなと思うほうだと思います。それは人それぞれだろうけど。だから、やっぱりかわいいちっちゃい子とかと、それこそ親戚でちっちゃい子と遊んでいたりすると、何か「幸せだな」みたいなのを感じて、そういうところから結婚とかそういうものを意識し始めたのかなという……。

・やっぱりある程度大人というか、大人にならないにしろ、その子たちにとってお兄さんとかそういう存在になったときは、やっぱりかわいいなって思った。

・自分と自分がすごい好きな人として、その二つの要素が合わさってできるものというのはすごい神秘的だなと思うし、絶対にかわいくてしょうがないだろうな。ある意味半分は自分の分身だし。すごくそこに喜びがあったりとか、何かまた新しい大切にしたい要素が生まれるだろうなと思って、そこでの喜びを考えると、子どもは欲しいな。何か世の中にあるものを自分のものにして喜ぶというのも、もちろんある。仕事だったりとか、漠然とした何かものだったり。車が欲しいとしたら車が欲しいという、そういうものもあるけれども、そうじゃなくて自分たちがつくっていけるものでつくっていけるといって変な感じだけれど、生み出せるもの。それがすごい自分の喜びにつながるものはずがいいなと思って。多分その先にある、子どもが成長してったり何だったりという喜びを考えて、子どもを持ちたいと思うのかもしれない。

・だから、さっき自分の老後を考えてという意見があったけれども、僕は、それはすごく付加価値的なもので、そこまで別に考えていないというか、想像力が及んでいないのかもしれないけれども、それよりも何よりも漠然と自分の喜びにつながることだなと思って、子どもを持ちたいというのがあるかもしれないです。

■理想の子供数

僕は3人ぐらい。

■理想の子供数 理由

きょうだいという要素は外せないというか、やっぱりあったらあったでいろいろ楽しいだろうし、いろいろ学ぶこともあるんじゃないかなと思って。自分が兄弟だからそう思うところもあると思うんですけど。ただ僕は、兄と自分で男の兄弟なんですけど、男の兄弟というよりは女の子と男の子と女の子とか……

■子どもの性別の希望

まざっていたほうがいいかなと……。別に男がこうあるべき女がこうあるべきというのではないけれども、そういういろんな要素が入っているほうが、育ちのときにいろんな感性ができるんじゃないかなと思って。

■育児休業制度の取得意欲

・すごい欲を言えば、仕事も休業する前と後とで全く変わらなくやりたいという気持ちはあるので。全く別の次元でこっちもやりたいし、こっちもやりたいという、それが同じぐらいのレベルであるということだから。ただ、それが現実に可能かどうかということを見ると……。

・両方 100 で求めているわけだから。となると、制度的にも無理だろうし、制度的に見たら保障があつてといっても、1年間なり何カ月間なり全く仕事をしていないところがあつちゃうと、やっぱりそこに戻って、本当に無意識のところでは難しいところがある。もちろん受け入れる側も、通念として「いいんだよ」という気持ちがこれからすごく普及していったとしても、何らかのしわ寄せはかかってくる。できないところもあるんじゃないかなと思っちゃうから、そうすると難しいのかな。例えば、完全に休むという制度ではなくて、残業がないだとか、そういう意味での休業というような分野がもっとしっかりするんだったら、それが一番いいのかな。働きながらなんだから、やっぱり保育園なり幼稚園なり……。

・(育児休業を取るのは)ちょっと怖いというか、いくらオーケーだという認識があつたにしても、やっぱりゼロがあるわけだから、そこというのはどう考えても消えないんじゃないかなと思っちゃう……。自分がいくら頑張ってもやっぱり知らないところが出てくるわけで、その意味ではすごい怖いと思う。だからこそ、仕事にかかわりつつ、そのかかわり方の度合いを、そういう意味での休業というか、ちょっと減らしてあいた時間で子育てするというような形がいいかなと……。

■子育てへの参加意識

それこそ自分の子なんだから、やっぱり仕事をしていたらできない子育ての面とかあると思うんです。それができないと、変な言い方だけど損をしているというか。もちろんそこに大変な面とかもあるのかもしれないけど、逆にそういうことを経験すると、もっと子どもに対しての気持ちとか高まるのかなとも思うし……。ただ、やれる機会があつたら、やりたいというのがあるけれども……。

■少子化問題について

・多分その経済的な問題を引き起こしている原因というのが、少子化それ自身にも何らかの関係があつたりすることじゃないから、どんどん悪い方向に悪い方向に回っていると僕なんか思うんですよ。そうしたら、どこかを変えなきゃい